



GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 国際ロータリー第2830地区
2024-25年度 ガバナー月信



アクトの翼(2024.12.25~29)

Contents

- ・巻頭言
- ・今月のガバナーメッセージ
- ・速報 アクトの翼報告
- ・ロータリー特別月間
- ・ガバナー補佐紹介

- ・IM開催報告
- ・ポリオワクチン投与活動
- ・ロータリー研究会に参加して
- ・各クラブの奉仕活動
- ・会員動向

国際ロータリー第2830地区事務所
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内
TEL.0173-732-2830/FAX.017-732-2831
E-MAIL rid2830@outlook.jp

巻頭言

年が明け、2025年を迎えました。ロータリアンの皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今回の原稿は、来るべき年に思いを馳せ、「アクトの翼」に同行して、台湾に向かう機内と帰りの機内で書いています。インターアクトの14名のメンバーが、一生に一度のかけがえのない体験をしてきました。詳しくは、5頁をご参照下さい。

さて、12月は弘前市で積雪84cmと観測史上最多を記録したそうです。朝起きて雪かきをしようとして風除室のドアを開けたら、一晩で膝丈の雪が積もっていました。弘前は青森市よりも雪が少ないなどと油断してはあっという間に裏切られます。

2024年の国内ニュースは、第1位が10月の衆院選で裏金問題から自公政権が過半数割れというニュース、第2位は1月の能登半島地震と9月の豪雨災害だったそうです。3位に被団協のノーベル平和賞受賞という明るい話題が取り上げられたのはせめてもの救いでした。海外では、50-50で3度目のMVPを獲得した大谷選手の活躍といった明るいニュースもありました。ちなみに、青森県内ニュースの第1位は、もちろん尊富士、110年ぶりの新入幕優勝です。今年は国内外を問わず、明るいニュースが多くなることを願ってやみません。

12月13日から15日まで、横浜で第53回ロータリー研究会が行われました。ステファニー・アーチックRI会長、マークマローニー財団管理委員長ご夫妻を迎えて、日本中のロータリーリーダーたちが集う年に一度のイベントです。招集者は水野功RI理事です。付随プログラムも充実しており、財団管理セミナーではロータリー財団の最新の情報が伝えられます。ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの研修会や、ガバナー

会議、同期会もこの機会に行われます。八重の会では30分ほどお時間をいただき、パキスタン・カラチでのポリオワクチン投与活動の報告をするとともに、パキスタンへの支援を各地区に要請しました。

また、ロータリー研究会2日目のDEIをテーマにしたセッションでは、同期、同学年の出村、三村ガバナーとともに登壇し、パネルディスカッションに参加させていただきました。DEIの次に来るBelonging(帰属意識)をアーチック会長は重視していますが、帰属意識の先にあるものは会員増強であるという発言をさせていただきました。また、クラブからDEIが失われたとき、どのような問題が生じるかについてもお話しいたしました。身近な場面を想定し、DEIを常に意識して行動することや、自分とは違う考えをもった人との対応が大事なことだと考えています。

2024-25年度の上期が終わり、後半の下期に入ります。クラブ会長の皆様は、上期の振り返りをなさって、年度初めの目標をどの程度実行できたでしょうか。下期では地区やクラブでもエレクト年度の行事もはじまり、何となく次年度の準備にウエイトが置かれがちになりますが、当年度で実行しておくべきことを改めてご確認いただき、クラブ優秀賞を目指して下さい。私自身も、年度が終わるまで引き続き積極的な活動をしていきたいと考えています。ガバナー年度は、3か月ごとに目標を掲げてそれを実践していくと教わったことがございました。最初の四半期は公式訪問、第2四半期は地区大会と他地区訪問でした。第3四半期は委員会活動と公式訪問での課題克服と考えています。ガバナー補佐、地区委員長の皆様にも、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。



今月のガバナーメッセージ

「DEI+Belonging(帰属意識)の先にあるもの」

ガバナー 花田 勝彦

12月号のガバナーメッセージでは、DEIを常に意識の中に置き、たゆまぬ実践をしていくことによって、クラブやロータリーへの帰属意識が根付いていくということを申し上げましたが、今月はその先にあるものについて述べたいと思います。

それはDEIをロータリー活動でどのように実践していくかです。それぞれの置かれた立場で違いが出てくるでしょうが、ロータリーでの人間関係の問題に直面したとき、これは恐らく多くの場合にDEIを実践する場面なのだと思います。相手の立場に立って考え、行動することです。一度きりではなく、継続的な取り組みが必要なことも多いでしょう。理屈ではなく、行動と実践だと思っています。自分の言動によって、他人が居心地の良さを感じるようになること、それがDEIの実践だと思っています。

そして、DEIの次にくるのがBelonging(帰属意識)です。皆さんは、自分のクラブに帰属意識をもっていますか。地区はどうですか。ロータリーへの帰属意識はどうでしょう。そこに自分の居場所があることや、居心地の良さを感じていれば、帰属意識があるといえるのでしょう。ロータリーへの帰属意識は、ロータリーを学ぶことで芽生えるはずですが、私自身は、国際協議会に参加したことで、今まではクラブや地区の範囲に留まっていた帰属意識が、ロータリー全体にまで広がったような気がしています。

ステファニー・アーチックRI会長は、ロータリーのマジックとは帰属意識であると繰り返し述べておられます。つまり、今年度の

テーマは帰属意識であるとさえ言っているのです。帰属意識を体験することは、そのときどきのロータリー活動から得られるマジックであり、だからこそクラブでの経験を魅力的なものにしようと述べておられるのだと思います。

そして、そのような帰属意識の先にあるものが、会員増強であるということが出来ます。このことはアーチック会長が明言しているわけではありませんが、自分にとって大切なものになればなるほど、その場所に友人を招き入れたいくなるのは必然といってよいでしょう。どのような活動をしているのか分からない団体には友人を誘うことはできない。自分が友人を誘うには、自分が胸を張って活動を自慢できるようなクラブであること、そして、仲間を大切にしてくれるクラブにしていけることが大切であり、それがクラブへの、ひいてはロータリーへの帰属意識であって、そこに仲間を増やしていくことで、活動の幅を増やし、より充実したロータリー活動を展開していけるのだと思います。

そう考えると、会員増強のスタートは、クラブや地区のメンバーに対する自分自身のインクルーシブな言動と、ロータリーを学び、実践していくことにあると言えます。それはさほど難しく考えることなく、「ロータリーを好きになること」が実感できれば、自ずとそこへ向かっていくような気がいたします。

次項へ続く



ロータリー研究会2日目の第3セッションでは、「ロータリーのDEI+Bについての本音トーク」と題するパネルディスカッションでパネリストを務めました。私たちの意見は最前列中央に座っていたステファニー・アーチックRI会長に伝わったかな？



速報

「アクトの翼」高校生14名の 台湾体験に同行して

ガバナー 花田 勝彦

皆さんは「アクトの翼」という当地区の青少年奉仕事業のことをご存知ですか。高校生(インターアクター)が短期間海外生活を体験するツアーで、提唱クラブと地区が費用の一部を負担します。かれこれ20年の歴史があるそうです。

歴史や経緯もさることながら、大切なのは事業の目的と内容です。

参加してくれる高校生が、海外での生活を体験することで、友情を育み、国際親善を図ると同時に、現地のロータリアンと当地区との友好関係を進めることにあると理解しています。

ロータリアン同志の協力だけでなく、送り出す側と受け入れる側、双方の高校の協力が必要不可欠な点に特徴があります。

今回は県内8校から14名の生徒と1名の指導教諭が参加してくれました。

12月25日、青森空港3名、三沢空港11名が集合し、羽田空港で結団式を行いました。説明会で顔を合わせているとはいうものの、初

めの海外という生徒が半分以上ですから、期待と不安、緊張感に包まれた雰囲気が伝わってきます。結団式では全体リーダーの尾上総合高校1年竹内花紀くんが出発の挨拶をしてくれました。

初日は台北へ移動し、明日からの羅東高校訪問に備えて早めに休みます。

2日目、台北から羅東へ移動し、昼食後、ついに羅東高校へ到着です。羅東ロータリークラブの皆さんと羅東高校の関係者が出迎えてくれました。日本語クラブの皆さんと早速交流して、翌日の文化発表会の練習です。夜は歓迎会で生徒たちはホストファミリーと同じ席に座ります。適宜解散の後は、ホストファミリーと羅東の夜市に繰り出す生徒も多かったようです。屋台の臭豆腐にチャレンジした子もいたような。

3日目は朝、学校での歓迎式典です。ロータリーと学校関係者の挨拶の後は、羅東高校の生徒による合唱での歓迎、日本チームは2班に分かれて、祭りと日本文化の紹介をしてくれました。校長室でお茶をいただきながら、今後の事業についての意見交換をしました。羅東から青森にも是非おいでいただきたいとお誘いして、台湾の学校が休みで、日本の学校では授業が行われている2月が、雪もあってベストシーズンではないかということになりました。是非実現に向けて準備を進めたいと思います。

午後は生徒たちは地元の工芸品づくりの体験授業です。途中からはロータリアンたちも



一緒に体験して工芸品を制作します。このような機会を通じて、生徒たちは次第に打ち解け、目に輝きを増していきます。

夜のホームステイは、それぞれのホストファミリーが生徒たちと最後の夜を楽しんだようです。

4日目の朝、ホストファミリーに送られて、羅東高校に集合します。既に絆は太いものとなっており、笑いと涙が交錯する時間です。たくさんの思い出の写真を撮影して、準備に加わったロータリアンや先生たちも感無量といったところです。あるホストファミリーのお父さんは、息子が一人増えた気分だ。こんな素晴らしい企画をしてくれてありがとうと言っていました。

羅東から台北に戻って一泊し、再度仲間たちとの最後の夕食会では、最初の緊張感はなく、かけがえのない仲間といった雰囲気となりました。



5日目、台北から羽田へ移動し、羽田で解団式です。一人一人から感想を言ってもらいましたが、行く前よりも間違いなく一回りも二回りも遅くなっています。

私からは、この経験を自分だけのものにするのではなく、たくさんの方に発信してほしいとお願いしました。

素晴らしい体験に同行させてもらったことに対して感謝の気持ちで一杯です。



後列：福田陽生(八戸) 石鉢理玖(工大二) 兼平あゆみ(尾上総合) 大久保美希(八学光星)
石倉紗礼・城前百花(ウルスラ)

前列：竹内花紀(尾上総合) 小村華楓・石橋彩花・上野奏詠(八戸) 小坂莉子(ウルスラ) 川口なな美(八戸東)
武内朋代(むつ工業) 寺山小梅(木造)



参加者からのコメント

この5日間を振り返って、とても充実できたと思います。国境をまたいで友だちができたことは、本当に一生の思い出です。このような機会を設けてくださり、ありがとうございました。今回の旅を通して、私には目標ができました。それは大学に進んだら第二外国語で中国語を専攻することです。もう一度台湾に行ったときには、翻訳機がなくても生活できるようにしておきたいと思ったからです。その目標を達成させるためにも今から勉強頑張ります。改めて大人の皆様、日本、台湾の学生の方に感謝したいと思います。ありがとうございました。

八戸高等学校2年 上野 奏詠

今回の旅行に関して初めての海外旅行、初めての飛行機、不安なことが多い旅行でしたが無事何事も無くこの4泊5日の台湾旅行を終わることができたことに、大人の皆様や台湾の皆様に感謝したいです。今回の旅をし、ここには書ききれない様々な体験や面白い知識を学び、行けてよかったと思える旅行でした。一生物のいい思い出になったと心から思います。ありがとうございました。

八戸工大二高等学校2年 石鉢 理玖

今回の活動で日本と台湾の違いをたくさん見つけることができました。

あまりにもたくさんの料理に圧倒されながら食べたことは、一生忘れません。常に日本とは異なる新しい味を体験できたので素晴らしい体験をすることができたと思っています。

まだまだ伝えたいことはあるほど、たくさんのことを学び、見つけ、経験することができました。今回の活動で学んだことを発信し、次に活かしたいと思います。

八戸聖ウルスラ高等学校1年 小坂 莉子

「『伝えたい』という思いは言語の壁を超える」ということです。学校では英語の成績が悪い私でも、3日間、そして3時間以上連続ほとんど英語だけで会話できたのです。自分の英語で伝わる嬉しさ、そして自分の英語力に対する自信を感じました。

今回の旅は、目に入るもの、聞こえる音、食べたものすべてに感動した5日間になりました。私たちが台湾で受けた歓迎のように、互いの文化を認め合い、違いを尊重し、言語や文化の違いを超えた交流が世界中で生まれればよいなと思いました。

八戸高等学校2年 福田 陽生 (B班班長)

言いたいことはただ一つ 台湾に行ってよかった！！！！
大人のみなさん謝謝！！

尾上総合高等学校1年 竹内 花紀 (全体リーダー)

今回最も印象に残ったのは、台湾の人の温かさです。特に交流していただいた羅東の生徒さん、先生方は、表面的に「交流しなければならなくなったから」「行事だから」ということではなく、私たちを親兄弟のように温かく迎え、どうしたら楽しい有意義な時間になるか考え、準備し、行動に移してくれました。特に羅東の先生方のバイタリティには圧倒されました。

指導教諭 中畑 信子 (尾上総合高等学校)

ロータリー特別月間

職業奉仕月間にあたり

社会奉仕・職業奉仕委員会 委員長 岩岡 隆雄
(八戸東RC)

2025年が始まり新たな気持ちで新年を迎え職業奉仕に取り組まれていることと存じます。1月は職業奉仕月間です、各クラブでも月間に合わせたプログラムを企画していると思いますが、地区では職業奉仕フォーラムの開催を予定しております。

このフォーラムは、職業奉仕の原点である職業人がリーダーシップを発揮し地域に貢献していくための要素をより解りやすく、しかも人間力を深く感じる事が出来る内容にしようと企画いたしました。

ロータリーは職業人それぞれが仕事を通じて地域に貢献する「職業奉仕」の実践者となる。

その職業奉仕が地域に必要とされ雇用を生み豊かな生活のお役立ちに貢献しております。この根底にある内容をより深めたフォーラムにしようと考えております。

ロータリアンであり続けるために企業を元気に社員の幸せを目指して一緒に考えてみましょう。皆様のご参加をお待ちしております。

と き 2025年2月8日(出) 14:00～

場 所 八戸パークホテル

八戸市吹上一丁目15-90

※詳しくは、22ページに掲載のチラシ
をご覧ください。

また、今年で10周年を迎える、青森大学にて「じょっぱり経済学」を開催します。

これは、青森大学の学生にロータリアンの出前講義をして頂く企画です。

昨年度の感想ですが、例会卓話の30分とは異なり90分で会社を紹介するために、学生に解りやすく伝える工夫が感じられました。

新年度の4月になってまもなく開講しますので、高校生から大学生に脱皮する機会と感じます。学生の皆さんも経営者のお話を直接聞く事が出来、職業も多種多様な内容となり社会人の仲間入りの準備が始まったような時間を感じました。

この講義はリクルート活動につながっていると思います。

いよいよ第10回のじょっぱり経済学の講師を募集します。

要項は各クラブに案内が届きますのでクラブから1名の推薦をお願いします。





東第2グループガバナー補佐 佐々木 紀仁
(十和田東RC)

第2830地区東第2グループガバナー補佐を務めております佐々木紀仁です。簡単な自己紹介となりますのでよろしくお願いいたします。

私は(有)佐々木ガス商会という会社の代表をしております。一般高圧ガス(酸素や炭酸ガス等)・LPG(プロパンガス)や灯油、それらに付随する機器の販売などしております。日々の情勢を見つづ月の相場の変動や売り上げに頭を悩ませている日々です。

ロータリーへの入会は2015年になるので今年度中に10年となります。2019-20年度の沼田ガバナーの年に会長となりましたが、年度初めの8月にマローニーRI会長が南グループのIMに来訪するという事でそれに参加したりと中々に派手な年度のスタートとは裏腹にコロナ禍が始まり、世界大会ホノルルもリモート大会になったり活動も自粛のために縮小したりとほとんど何もできない年度でありました。ただ寄付・寄贈などで近年では一番メディアに顔出し(といってもマスク越しですが)した会長になったかと思えます。

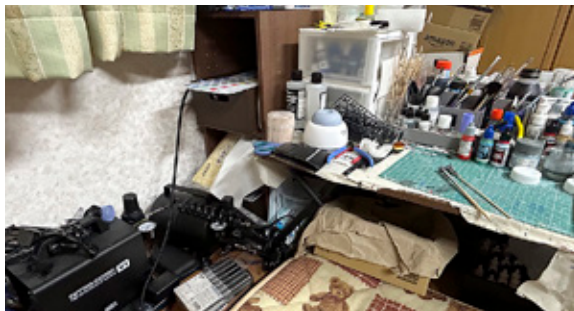
趣味的なものとしてはロード・クロスバイクもやっていますが、雑な扱いのせいかフレームが破損してから休業中となっております。とはいえ、



もともと以前紙面に紹介された小田桐ガバナー補佐ほどしっかり取り組めてはいなかったのと、最近はロードも高くなっているのではなかなかすぐに手が出せずにダラダラし

ていたのですが、健康のためバイクマシンを購入しごまかしながらやっています。

あとはコロナ禍の巣ごもり需要の中で話題だったのを見て気にはなっていたのですが、気付いたら自分も小・中高生以来の模型作りに戻り状態となっております。道具等も昔とは品数も質も変わってきているので必要なものを買いつつ揃えながら一つのをゆっくり楽しくコツコツと作っています。



最近は「道の駅切符」も集め始めてます。駅にちなんでなのかそれぞれに切符を販売してますので、スタンプ代わりの記念に買うようになりました。取り扱いの有無で全ての道の駅にあるわけではないのですが、県内の近場から集めていこうかと考えています。



このような感じでロータリー・仕事・プライベートのバランスをとりながらそれぞれのことを楽しんで取り組めるよう日々心がけています。

インターシティ・ミーティング開催報告

西第1グループIM開催に あたって

西第1グループガバナー補佐 小田桐 浩
(五所川原イヴニングRC)

今回、このインターシティミーティング IMを開催するにあたり、テーマを何にするか、いろいろ考えて見ました。

去年の五所川原ロータリークラブさんで行いましたIMのテーマの中に「地域活性化」ということばがありました。また、他グループのテーマの中にも「地域活性化」ということばがありました。

ロータリークラブの本文であります、「奉仕」の意味の中には、地域の方々が幸せに暮らせるような環境作りであり、それをお手伝いして地域を活性化するのもロータリークラブの仕事の一つであると私は考えます。



それでは、なにで地域を活性化させればいいのかと悩んでいたとき、3月の新聞に、今回の講演者弘前大学の佐々木先生の記事、「弘大発技術 お墨付き リチウム効率的採取 国際学術誌に論文 実用化期待」という見出しがありました。もともと私はエネルギーについて興味があった物ですから、これだと思いテーマを「再生可能エネルギーによる地域活性化」とさせていただきます。

ちなみに、リチウムは、電気自動車、スマートフォンのバッテリーに必要な鉱物で、佐々木先生はこれを効率的に回収する研究を行っているそうです。

佐々木先生に講演をいただくのはいいのですが、弘大の先生とはコネもツテもない中で、花田ガバナーから助言をいただ



き、そして何よりも弘前東ロータリークラブの工藤孝子さんに助けてもらい、今日のIMに至りました。ありがとうございます。

パネラーの方々におかれましても、各分野での専門家であり、再生可能エネルギー及び地域活性化について忌憚のないお話をいただけらと思っています。



6月の新聞に来春卒業を予定している就職希望の高校生に調査したところ、県内での就職を希望する人は70.8%で調査開始以降最高となったそうです。折角県内に残りたいという若い人がいるのであれば、我々がその受け皿となり、再生可能エネルギーを一つのツールとして地域の活性化につなげ、ロータリーとしての「奉仕」につなげ、この地域社会を盛り上げて行けたら幸いだと考えます。



最後に、講演をいただいた佐々木先生がこの日ちょうど還暦の誕生日にあたり、我が五所川原イヴニングロータリークラブの「キャンディーズ」*(命名者：弘前東ロータリークラブ工藤孝子さん)が、瞬時にサプライズを企画し、ケーキの準備と誕生パーティーを行いました。佐々木先生にとっては、最高の還暦祝いになったのではないのでしょうか。

手前みそではありますが、さすが「キャンディーズ」今後が楽しみです。

*：成田和代会長、安田美香子幹事、赤城麻衣子会員



インターシティ・ミーティング開催報告

西第2グループ インターシティ ミーティングを開催して

西第2グループガバナー補佐 成田 学
(弘前アップルRC)

今年是我が弘前アップルRCがインターシティミーティング(IM)のホストクラブになります。実行委員会を立ち上げ早めに日時や場所を決めたまではよかったのですが、DEIに沿った講師を探して講演依頼しましたが、引き受けてくださる方が見つからず、当クラブのインターアクトクラブである尾上総合高校にお願いしては、の会員の声に満場一致で賛成の事となり、講師のめどが立ったのがガバナー訪問公式例会の後でした。それからは各クラブへの案内状作成、各費用の予算化、急ピッチで準備に取り掛かり例会はほとんどIMのことばかりでした。特に席次は前日に変更したりとバタバタでしたが、何とか無事当日をむかえることになりました。

始まりは西第2グループ8クラブによる合同例会です。澁谷会員の司会で各クラブの会長が5分ほど活動報告と近況報告と会員増強等を発表していただきました。各クラブとも会員増強に力を入れていて、熱心に勧誘等されていたのがわかります。弘前クラブ、弘前西クラブ、黒石クラブ、は新入会員が加入していますが、その他のクラブはだいたい苦戦している様子です。



続いてインターシティミーティングの始まりです。開会点鐘からロータリーソング斉

唱、4つのテスト、ガバナー補佐の開会の挨拶と定例の流れを踏んで、花田ガバナーの挨拶を頂きました。花田ガバナーからちょうど一周間前の11月23日～27日までのパキスタンでのポリオワクチン投与活動のご報告して頂きました。

政情不安定で治安の悪いなかでのポリオ根絶活動ご苦労様です。

次に本日の記念講演です。講師は青森県立尾上総合高校の校長先生、杉森 晋様です。『尾上総合高校における多様な学びの提供について』の演題での講演をしていただきました。

尾上総合高校は中弘南黒地区唯一の定時制高校です。1部2部3部と分かれていて色々な時間から授業を受けることができます。多種多様な生徒達に対応していて特別な取り組みもされています。現在の教育現場の貴重なお話をしていただき大変ありがとうございました。



そして閉会セレモニーを経て大懇親会です。実行委員長、福士博之会員の挨拶から始まり、乾杯の音頭は小山内パストガバナーに取っていただき

盛況に始まりました。予算の都合でアトラクションはございませんが、ポリオ根絶活動に寄付することにいたしました。最後に『手に手つないで』で友好と親睦に満ちた懇親会を終了いたしました。

追伸、不行き届き等多数ございましたことをお詫び申し上げます。



パキスタン・カラチでの ポリオワクチン投与活動

11月23日から27日まで、パキスタン・カラチでのポリオワクチン投与に参加された当地区ロータリアンの皆さんの報告です。



野辺地RC 横濱 敬子

ヘルスワーカーさんの指導の下、停車のバスや電車、スラム街などで、ワクチン投与を行いました。子供達の口に2滴入れるのが難しかったですが、最終日には上手くなっていったと思います。彼らの生活には、安全な飲み水、衛生の改善、学びの場(識字)など、これからも手厚い援助が必要であると感じました。そのためには、財団への理解と寄付が大切です。チャンスがあったら、また彼らの笑顔に会いに行きたいです。



むつ中央RC 柴田 文彦

初めてポリオワクチン投与活動に参加しました。ポリオ撲滅に向けたロータリーの本気、そして衝撃的な貧困生活の中での子供達とその親のまなざしは忘れません。(今記事依頼の制限枠ではこれ以上語れず割愛させていただきます。)

アテンドしてくれた事務局の永田雄治氏、現地委員長のアリ氏、心遣いがありがたかつ



た通訳のバッチィ氏、素敵な勇士の学生とロータリアンの仲間たち11人と共有したかけがえのない時間に感謝申し上げます。切です。チャンスがあったら、また彼らの笑顔に会いに行きたいです。



鶴田RC 坂本 幸光

この度、パキスタンのポリオワクチン活動に初めて参加させていただきました。

今回の活動で一番印象に残っているのは、道路沿いのテントで暮らす地域での活動の際、この地域の人たちのことを現地添乗員バッチィさんに質問したところパキスタンの国自体がこの地域にはほぼ関わりを持つことはないとのこと。生涯かわることのない厳しい暮らし。言葉では言い尽くせないほどの格差。

これが現実です。





五所川原イヴニングRC 木皮 美賀

今回初めて、ポリオワクチン投与活動に参加させていただきました。百聞は一見に如かず！取りあえず行ってこよう！と行動を起こしました。一カ月前の事でした。

カラチでの活動で、まず貧困の差に驚きました。高層マンションのそばで、泥水で歯を磨く移民・難民の居住があり劣悪な環境下でした。私たちには常に警察同行という緊張でもありました。沢山の地元ワーカーさんと活動させていただきました。皆さん、手際よく慣れたものです。ポリオの問題は、ワクチン投与活動も重要ですが、水問題、識字率問題、移民問題、どれも外せない問題です。是非、参加できる方は、ポリオワクチン投与活動に参加していただければと思います。そして、大きな瞳の可愛い子供達に会いにいきましょう！

弘前RC 三浦 真介

カラチでは地元警察に護られながら観光客は絶対に立ち入らないスラムの領域に敢えて入り、ワクチン投与に従事することとなりました。とはいえ幼児のお口に2滴垂らすことが思いのほか難しく、寧ろ活動の妨げになったはずですが、現地のワーカーさんたちの日常の活動と世界の過酷な現実に触れた経験が貴重であり、ポリオ根絶のみならず貧困や衛生や識字率といった多くの課題が眼前に残さ





れていることをも実感すること
となりました。



青森モーニングRC 土橋 伸行

ツアー直前にカラチで中国人を襲ったテロ
がありました。去年の2倍の警察官(写真
1)に守られて全員無事にポリオ接種活動
を終え、日本に帰国することができまし
た。また、ポリオの活動以外にも水事業
(写真2)、ポリオワーカーたちへの白
衣(スクラブなど)寄付活動(写真3)
も行っております。パキスタンに行か
なくてもパキスタンへの支援は可能
です。ポリオに限らずパキスタン支
援に御協力をお願いします。



(写真1)



(写真3)



(写真2)

青森モーニングRC 坂井 哲博

有意義な活動をガバナー始めチームメンバー皆様にお礼申し上げます。昨年は、卒業生(県病手術部看護師)、本年は卒業生(県病棟看護師)と学生(看護学部4年生)と活動に参加しました。3人は、県内ロータリアンとのワクチン投与活動を通して平和に対する深い理解共有が得られ、将来ロータリアンになってくれることも願っています。また県内高校生にも地元の大学に進学してもらえるような情報発信を心がけています。



※同期ガバナーの懇親会の席で、パキスタンでの活動を報告する機会をいただきました。その際に作成したパワーポイントです。容量の関係上、動画はカットしてありますのであしからずご了承下さい。

<https://www.rid2830.org/informations/223>



第53回ロータリー研究会に参加して

地区補助金委員会 委員長 西尾 和樹
(八戸南RC)



このたび、12月に横浜で開催されたロータリー研究会に初めて参加させていただきましたので、その報告をいたします。

国際ロータリーゾーン1A,2&3第53回ロータリー研究会は、ステファニーA.アーチックRI会長と会長エイドのトーマスA.ガンブご夫妻ならびにマーク・ダニエル・マローニーロータリー財団管理委員長ご夫妻、ラリーA.ランスフォードロータリー財団管理副委員長をお迎えして開催されました。

私は、12月13日(金)のRI会長・TRF管理委員長ご夫妻歓迎晩餐会、14日(土)、15日(日)のロータリー研究会に参加しました。

ロータリー研究会では、RI会長の基調講演「THE MAGIC OF ROTARY」、TRF管理委員長の基調講演「The Magic of The Rotary Foundation」に続き、各地区、各クラブの活動事例を紹介する5つのセッションがありました。1つ目は、未来への投資としての財団補助金プログラム・財団学友・ロータリー平和センターの取り組みについて。2つ目は、アクションプランの取り組み事例とクラブ活性化の実践例。3つ目は、DEI+Bに関するパネルディスカッション。4つ目は、「ロータリーのマジック」ストーリーの発表。5つ目は、ポリオ根絶に向けた取り組み、世界ポリオデーの事例発表。などなど、ぎゅぎゅっと

中身の濃い、多岐にわたるお話で、お腹いっぱい研究会でした。

特に印象に残った取り組みは、東京東江戸川RC(2580地区)の「夢が繋がるミャンマー小学校プロジェクト」。米山奨学生の夢、「母国ミャンマーの田舎に小学校を建設すること」を一緒に実現できないかとクラブで動き出し、現地の協力団体と綿密な打ち合わせの末、小学校建設が実現。子供たちの前で涙ながらに「今日、私の夢が叶いました！皆さんもこの新

しい学校でたくさん勉強して、決して夢を諦めないでください」のメッセージに深く感激し、涙目になりました。

初めて参加したロータリー研究会では、様々な活動事例に触れることができ、「世界でよいことをするために」自分には何が出来るだろう、何をしてきただろうと考えさせられました。この大きな課題に会ったのが今回参加した一番の収穫だったかもしれません。

もうひとつ、ロータリーの魅力は、人との出会いだと思います。数年ぶりにお会いする方、オンラインでのつながりだった方と直接お会いすること、地元埼玉県のロータリアンと交流することなど、ロータリー活動を通じて、多くの方々と出会い、親しくさせていただきました。このような貴重な機会をいただき、感謝いたします。



各クラブの動き

4クラブ合同夜会(2024.7.23)

東第1グループガバナー補佐 蛭沢 公洋
(東北RC)

六ヶ所村「ろっかぽっか」で 東北、六ヶ所、野辺地、七戸の合同例会です。





各クラブの動き

十和田市内3クラブ合同例会報告 (2024.11.28)

東第2グループガバナー補佐 佐々木 紀仁
(十和田東RC)



十和田のサンロイヤルにおいて十和田市内3クラブ合同例会が開催されました。これは十和田市内3クラブの情報交換や親睦を目的として各クラブが持ち回りで主管

を担当し秋と春の年2回で毎年開催されるものです。

今回は十和田東RCが主幹を担当し、例会セレモニーに続きゲスト《第2830地区 佐々木千賀子パストガバナー、地区米山記念奨学委員会 佐藤一尚委員長、地区クラブ拡大・会員増強委員会 吉田賢治委員長、東第2グループガバナー補佐 佐々木紀仁、米山奨学生 孫 佳琰さんとマークボディ、ブンカニさん》の紹介があり、田中会長による主幹クラブ会長謝辞の後、各クラブによる会長要件と幹事報告を行いました。休憩を挟み、佐藤委員長による一年目でもあるマークボディ、



ブンカニさんの紹介後、彼女による卓話が行われ例会パートは終了。その後は佐々木パストガバナーの挨拶に続き佐々木ガバナー補佐の乾杯で懇親会がスタート。吉田委員長からも挨拶をいただき、参加した皆さんで交流を深めました。最後は次回主幹クラブである十和田八甲RC羽賀会長による中締めで終了となりました。



カルガリー国際大会の登録はお済みですか？

当地区では、T-lifeパートナーズのツアーに企画段階から参加し、2600地区(長野県)と合同で2日目の夜は「ガバナーアップルナイト」を開催します。

ツアーへの申込みがまだの方はこちら(<mailto:rotic@t-life.co.jp>)からお申込み下さい。

写真は左からトム・ガンプリ会長エイド、ステファニー・アーチックRI会長、水野功RI理事。ロータリー研究会にて、JAPANテンガロンハットが皆さんお似合いです。

当地区からツアーにご参加の方には、このハットをプレゼントいたします！

詳しくはこちらから▷<https://www.rid2830.org/informations/224>





各クラブの奉仕活動

「しごとーいみさわ」の開催について (2024.11.30)

三沢東RC 高橋 明

三沢東ロータリークラブがロータリー第2830地区補助事業として共催し、県内外の小学校の子供たち約100人が参加した「しごとーいみさわ」が、11月30日、三沢市国際交流スポーツセンターで開催されました。

このイベントでは、参加した子供たちが、仕事をして給料をもらい、税金を納め、買い物を楽しむという経済活動の流れを学びました。

青森県で初開催されたこのイベントでは、大工や美容室、雑貨屋といった仕事や、給料を受け取る銀行、税務署など約30ブースが用意され、三沢東ロータリークラブのブースでは、ポリオについて広く周知するためのポスターを作成するという仕事を子供たちに行っていただきました。

ポスター作りに参加した子供たちのほとんどがポリオについて知らず、メンバーから、「ポリオは5歳未満のきれいな水を飲むこと

の出来ない子供たちがかかりやすい病気であるが、ワクチンを接種することによって予防出来る病気である。」との説明を受けて、ポスター作りに取り組んでいました。

ポスター作りに参加した子どもたちは、メンバーから受けた説明を文書で、あるいはワクチンの注射器の絵を描いたり、十人十色の表現でポスターを作成していました。

また、当日は、会場内にローター君も登場し、参加した子供たちとハイタッチを交わすなど、交流を深めていました。

なお、このイベントで発行された独自通貨「とーい」は、参加した子供たちの通帳に貯金され、来年以降開催される同イベントで使用することが出来るとのことであり、当クラブとしては、来年以降も引き続き、青少年育成の一環として継続参加していきたいと考えております。



国際ロータリー第2830地区 職業奉仕フォーラム

職業奉仕原点を見つめ地域経済にロータリーの
奉仕を実践する

2025

2月8日 Sat
14:00-19:30

霊気満山 なぜ人々がこの山に
集うのか

人間が人間らしく生きるためには

このフォーラムでは、入て学び出て奉仕せよを実践するた
めの大きな要素が含まれています。

プログラムには経営者としてのあり方、親睦の先にあるべ
き奉仕を深く考えより良いクラブとしての未来を創造する
チャンスと捉えております。

- 場所: 八戸パークホテル
- 日時: 2025年2月8日 14:00~17:30
- 登録料: 一人 ¥10,000 (懇親会含む)
- ¥3,000 (フォーラムのみ)
- 登録方法: 地区事務所まで申し込みください



佐藤 秀仁 氏

大本山高尾山薬王院 貫首

国際ロータリー第2750地区
東京八王子南ロータリークラブ会員
奉仕プロジェクト委員会

お申し込み 国際ロータリー第2830地区事務所



会員動向

【入会者】



中久木 功
(六ヶ所)
11月21日入会



荒川 裕
(六ヶ所)
11月21日入会



野月 順子
(十和田東)
11月14日入会



古川 一志
(五所川原)
11月27日入会



菊谷 忠光
(鯉ヶ沢)
11月1日入会



小向 豊
(八戸北)
11月11日入会

【退会者】

クラブ名	氏名	退会日
六ヶ所	吉本 篤史	11月21日
青森モーニング	木村 裕	11月30日
八戸中央	鈴木 節雄	11月25日

【ご逝去会員】

謹んでご冥福をお祈りいたします。



田口 豊實（八戸南）
11月17日ご逝去

【ロータリー財団寄付】



久保田 幸造
（八戸南）
PHF+6



慶徳 拓也
（八戸南）
PHF+3

【米山記念奨学会寄付】

<米山功労者>



小林 俊一
（青森）
第4回
マルチプル



長嶺 康廣
（八戸南）
第37回
メジャートナー



2024年11月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑)	2	100.00	51 (9)	0 (0)	0 (0)	51 (9)	3 (1)	50 (9)	2 (1)	1 (1)	27.45
	野辺地	4	84.10	13	0	0	13	2	13	0	0	100.00
	七戸	3	72.22	12	0	0	12	2	11	1	0	16.67
	東北	3	72.90	16	0	0	16	2	16	0	0	81.25
	むつ中央	3	56.00	20	0	0	20	0	20	0	0	15.00
	六ヶ所	3	74.00	37	2	1	38	1	32	7	1	26.32
	小計				149	2	1	150	10	142	10	2
東第二グループ	三沢	4	54.76	23	0	0	23	1	23	0	0	39.13
	十和田	4	71.00	35	0	0	35	10	34	1	0	28.57
	十和田東	4	45.40	27	1	0	28	4	25	3	0	53.57
	おいらせ	2	60.00	7	0	0	7	1	6	1	0	42.86
	三沢東	3	66.10	35	0	0	35	4	34	1	0	31.43
	十和田八甲	3	62.50	84	0	0	84	1	80	5	1	39.29
	小計				211	1	0	212	21	202	11	1
西第一グループ	五所川原	4	71.80	57	1	0	58	6	52	6	0	71.93
	金木	4	75.00	12	0	0	12	1	12	0	0	8.33
	鱒ヶ沢	2	70.50	16	1	0	17	2	16	1	0	35.29
	鶴田	2	50.00	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	44.00	25	0	0	25	2	25	0	0	44.00
	つがる	3	80.80	33	0	0	33	0	30	4	1	33.33
	五所川原イヴニング	2	62.00	25	0	0	25	7	25	0	0	56.00
	小計				176	2	0	178	19	168	11	1
西第二グループ	弘前	3	81.60	48	0	0	48	3	45	4	1	54.17
	弘前東 (うち、弘前東桜華)	2	42.90	12 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (4)	4 (2)	13 (5)	0 (0)	1 (1)	50.00
	板柳	2	70.00	10	0	0	10	0	10	0	0	40.00
	黒石	2	77.00	23	0	0	23	3	20	3	0	47.83
	大鰐	3	60.00	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前西	2	100.00	32	0	0	32	6	30	2	0	62.50
	平賀・尾上	2	33.30	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	3	100.00	15	0	0	15	2	16	0	1	73.33
小計				158	0	0	158	18	152	9	3	
中グループ	青森	3	60.50	107	0	0	107	9	105	6	4	100.00
	青森北東	2	90.20	22	0	0	22	3	22	0	0	68.18
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	58.80	20	0	1	19	4	21	0	2	60.00
	小計				155	0	1	154	17	154	6	6
南グループ	八戸	2	68.10	65	0	0	65	0	65	1	1	40.63
	八戸東	3	100.00	47	0	0	47	0	46	1	0	55.32
	三戸	3	96.00	9	0	0	9	1	9	0	0	88.89
	五戸	3	88.90	12	0	0	12	1	12	0	0	50.00
	南部	3	66.60	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	3	62.40	38	1	0	39	8	38	1	0	51.28
	八戸南 (うち、八戸南さくらエイト)	2	70.00	43 (11)	0 (0)	1 (0)	42 (11)	12 (11)	39 (11)	4 (0)	1 (0)	95.24
	八戸中央	3	52.60	20	0	1	19	5	20	0	1	42.11
	八戸西	3	37.30	34	0	0	34	20	33	1	0	47.06
小計				277	1	2	276	47	271	8	3	
合計 40RC				1,126	6	4	1,128	132	1,089	55	16	52.39

※ () 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2024年6月末会員数です
7月1日の会員数は1,098名です
11月末現在の入退会人数です

地区行事予定

2025年1月 職業奉仕月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(水)	元日	
2	(木)		
3	(金)		
4	(土)		
5	(日)		
6	(月)		
7	(火)		
8	(水)		
9	(木)		
10	(金)		
11	(土)		
12	(日)		
13	(月)	成人の日	
14	(火)		
15	(水)		
16	(木)		
17	(金)		
18	(土)	映画「じよっぱりー看護の人花田ミキ」無料上映会	弘前市民文化交流館ホール
19	(日)	映画「じよっぱりー看護の人花田ミキ」無料上映会 ガバナーエレクト壮行会	八戸市公民館ホール ホテル青森
20	(月)	グローバル補助金事業視察（～24日）	タイ
21	(火)		
22	(水)		
23	(木)		
24	(金)		
25	(土)		
26	(日)	第8回全国地区RA委員長ならびに地区RA代表合同会議 他地区合同ウィンターキャンプ for インバウンド	ハイブリッド開催 蔵王ライザワールド
27	(月)		
28	(火)		
29	(水)		
30	(木)		
31	(金)		



地区行事予定			
2025年2月 平和構築と紛争予防月間			
月日	曜日	内容	会場
1	(土)		
2	(日)	第1回全国IA委員長会議	ハイブリッド開催
3	(月)		
4	(火)		
5	(水)		
6	(木)		
7	(金)		
8	(土)	職業奉仕フォーラム	八戸パークホテル
9	(日)	ガバナーエレクト国際協議会（～13日）	米国フロリダ州オーランド
10	(月)		
11	(火)	建国記念の日	
12	(水)		
13	(木)		
14	(金)		
15	(土)		
16	(日)		
17	(月)		
18	(火)		
19	(水)		
20	(木)		
21	(金)		
22	(土)	南グループIM	八戸プラザホテル アーバンホール
23	(日)	天皇誕生日 諮問委員会（米谷GE国際協議会報告）	ホテル青森
24	(月)	振替休日	
25	(火)		
26	(水)		
27	(木)		
28	(金)		

みなさんのロータリー活動をご紹介ください ~記事投稿のお願い~

日々のロータリー活動を、ガバナー月信に載せてみませんか？

2024-25年度ガバナー月信では、皆様のロータリー活動を地区内外問わず、他のクラブに広く知って頂くチャンスとするため、記事を募集いたします。

記事(右記参照)は、文字と写真共に多め、あるいは写真が多めの記事でも結構です。

SNSへの投稿が不慣れなクラブの方も、月信に投稿頂けます。

是非、みなさんの活動をご紹介させていただきます!!

~ 毎月号、募集しております!! ~



編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は、皆さまに沢山の記事をご寄稿していただきました。沢山のご協力感謝申し上げます。引き続き残りの半期も記事を募集しておりますので、よろしく願い申し上げます。

さて、この1月は私にとって『ローターアクトとの繋がり』を考える少し特別な月です。と申しますのは、昨年のお正月頃に五所川原RAC(1986年5月21日発会、同年6月14日チャーターナイト。もうすぐ40周年です。)の今雄人君と佐藤勘太君(本年度会長)に、当クラブの幼年サッカー大会PRと私なりの社会奉仕、職業奉仕について話をしに行きました。この時、非常に熱心な2人を見てRACの将来を前向きに捉えておりました。

現在、佐藤君は私たちと一緒に幼年サッカー大会に参加し、一方、今君は転勤のため五所川原市内にはいませんが県内のとある事業所に勤務しており、佐藤君をサポートしながらリモート会員(※)として、お互いに少しずつ手探りしながら活動しています。彼らにも仕事上の立場があり、RACの活動を続けることは困難かも知れませんが、それでも私たちに協力してくれる道を選んでくれました。私は、この留まってくれた彼らの「ロータリーへの想い」にどのような形で応えられるのか、実はまだ悩んでおります。クラブでの方針やロータリー内外の協力者を得ること等、難しい課題を抱えているのも事実かと思えます。

しかしながら、今私ができる事は、地区DEI推進委員をさせて頂き、少しずつ他の委員会の情報を頂いている中で、「今も私たちはRACの活動を見続けているよ」という私なりのロータリーの奉仕と親睦の心(メッセージ)を、これからも彼らに少しずつでも伝え続ける事(関わる事)だと思っております。そして、それがいつか彼らにとって、小さくても1つの『ロータリーの良さ』に繋がって行けばと思っております。

※リモート会員とは非公式ですが、昨年6月1日に開催されたRAC活性化会議内でリモート例会を模索する話が出たことで、私が彼に提案したものです。

ガバナー月信 編集後記担当 増田 卓也
(五所川原ロータリークラブ)